

第2回次世代医療ICT
タスクフォース
説明資料

平成26年5月23日

経済産業省

経済産業省として医療ICTの目指すべき方向性

- 医療ICTを通じて、①患者・国民本位のきめ細かいサービスの充実、②社会保障分野の効率化、③データ蓄積・分析を通じた、健康・医療・介護サービス全般の質の向上、の実現が重要。
- しかしながら、実際の現場においては、診断情報、治療情報、経過情報等を管理する各システムは、バラバラにデジタル化され、プロセス単位で運用されているのが一般的。
- 今後、医療ICT化の目標を達成するためには、医療現場全体の最適化に向けた研究開発と利活用の促進に向けたデジタル基盤の整備が必要。

目標

患者・国民本位の
きめ細かいサービス

効率化
(コストの合理化)

健康・医療・介護
全般の質の向上

～現状～

～今後の方向性～

情報の利活用

主に、研究及び統計等医療行政
に利用

- 医療データを本人に紐付け、自ら活用できる仕組み
- ヘルスケア事業者がアクセスできる仕組み

全体のデジタル基盤

国、保健者、学会における機関別、
目的別のデータベース

自己計測や介護現場の領域も含めた
統合データベースの構築

現場のデジタル化

プロセス単位でデジタル化

診断情報

治療情報

経過情報



診察室



治療室



病室

インテリジェント病院

ICTを活用した病院内情報
連携による医療プロセス
全体の最適化・高度化

ICTを活用したインテリジェント病院のイメージ

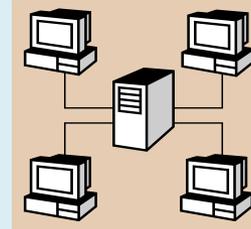
- 今後は、診療情報統合プラットフォームを主軸に、診断・治療・患者管理など病院内の各種システムが統合されることにより、さらなる医療の高度化が期待される。
- 並行して、機器とシステム間、また各システム間の相互接続を容易にすることが重要。

<イメージ図>

インテリジェント病院

～病院内情報連携による医療プロセス全体の最適化・高度化～

各プロセスの情報を統合
(診療情報統合プラットフォーム)



・患者情報

・診断情報
・治療方法

・患者情報
・治療方法

・治療情報

・投薬情報

・患者管理情報

診察室

的確で効率の良い
診断
(診断支援システム)



治療室

安全で効率の良い
治療
(治療支援システム)



病室

安全で効率の良い
患者管理
(患者管理システム)

